





















経尿道的膀胱腫瘍切除術クリニカルパス

氏名 _____ 様

病日 日付	入院日	手術日	1病日	2病日	3病日(退院日)
観察	入院時・夕方検温します 	手術前・帰宅時・3時間後以降6時間毎に検温します 	1日2回検温します 		
	尿の量・尿の色をみます	☆手術後、以下のことを観察します☆ 下肢の感覚が戻っているか、尿の量(3時間毎)、イキミ症状 お尻の圧迫で赤くなってないか、排尿用の管がしっかり固定されているか・管の脇から尿が漏れないか、尿の量・色をみます	☆排尿用の管を抜去後以下の項目を観察します☆ 排尿間隔(何時間おきに尿がでているか) 残尿感(尿の残った感じ)		
安静	特に制限はありません 	手術後はベッドの上で安静になります 寝返りはうてますが、ベッドの横に降りたり起きあがったりはできません 	回診後は歩行してかまいませんが、 排尿用の管からの出血の状態により制限されることもあります		
食事	普通食がでます  午前手術の方は夜9時以降飲食できません 午後手術の方は夜9時以降食事のみできません	午後手術の方は、朝8時まで水分がとれます 	普通食がでます  食事の制限は特にありません 1日1000mL以上の水分を飲むようにしましょう 		
清潔	入浴できます 		お湯で体を拭くことができます 	シャワーを浴びることができます 排尿用の管が抜けたら入浴ができます 	
排泄	尿はすべてトイレ内の袋へためてください	手術後は排尿用の管が入ります 排便はベッドの上になります	排尿用の管が抜けたらトイレ内の袋に尿をためてください 安静解除後は排便はトイレでできます		
診察		医師の回診が8時頃よりあります。ベッドで休んでお待ちください 			
処置	寝る前に下剤を飲みます 	手術前に浣腸をします	回診時排尿用の管を抜きます(1病日または2病日) 		
検査			朝 採血があります 		
薬物療法	今まで飲んでた薬は薬剤師に渡してください 	持参した薬は種類によって飲むものもあります 回診時に針を刺し、点滴を入れます  点滴は翌日まで持続で入ります 手術中と手術後に抗生剤の点滴を行います 手術後、腰に麻酔の管が入ってきます。そこから痛み止めの薬を入れます(1病日目まで) 痛みやイキミの症状があれば硬膜外カテーテルからの薬または坐薬を使用します	点滴が1日2本あります 		
説明	入院生活について説明します 手術について説明し、同意書のサインを確認します 排尿用の管について説明します 			退院後の生活について説明します	退院時に次回外来の予約券をお渡しします
指導	入院治療計画書をお渡しします				
目標	手術や入院中の予定がわかる	術後の安静が守れ、術後出血が増強しない		排尿パターンが安定し、退院後の生活がわかる	